

【台湾】

1月の市場動向トピックス

- 2018年1月の訪日台湾人数は、前年同月比0.1%減の350,500人であった。
- 地方への航空路線の増便やチャーター便の就航など増加要因もあったものの、昨年1月末にあった旧正月（春節）休暇が今年は2月中旬となった影響を受け、訪日者数は前年同月とほぼ同じであった。

1月の主なプロモーション活動

- * 1月18日に、タイガーエア台湾が小松便を週2便（木・日）で新規就航（A320・180席）し、JNTOとの共同広告の一環として新規就航キャンペーンを宣伝した。北陸初のLCC就航として注目が集まる中、台北メトロ構内サインエージ、ホームドアにおける屋外広告、新聞記事の掲載、動画広告やウェブ広告などの様々な媒体を活用し、台湾内でのプロモーションを行った。



北陸初のLCCタイガーエア台湾 小松便新規就航に合わせた共同広告

- * 1月6日～2月2日に、現地旅行会社とタイアップし、訪日旅行商品の販売促進を目的としたポストカードキャンペーンを実施した。訪日旅行中に撮影した写真を投稿すると、ポストカードとして印刷し台湾にいる家族や友人たちに送付することができ、カードを受け取った人は大手旅行会社各支店にてノベルティが貰えるほか、その場で訪日旅行商品を購入するとさらに旅先で使える豪華賞品が貰える。身近な人からの口コミを活用し、旅行会社店舗への送客及び訪日旅行商品の購入促進を図った。



旅行会社とタイアップしたポストカードキャンペーン